

■ フィリピン巡礼ツアー 2011 フィリピン人の信仰のルーツを訪ねて

Pilgrimage Tour Philippines 2011 Visiting the faith of Filipinos

2011年11月10日(木)～14日(月) (4泊5日)

旅行代金 185,000円 (全食事付き、燃油サーチャージ込)

利用予定航空会社：日本航空 JAL

同行者：レスティ オグシメール神父 (CTIC 副所長、スカラブリーニ宣教会)
寺田 勇文教授 (上智大学 外国語学部 学部長、フィリピン研究)

定員：30名 (最小催行人数 20名) 募集締切：9月9日(金) *但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

旅行手配：株式会社 JTB 法人東京・品川支店

*問合せ、申し込み先：カトリック東京国際センター Tel 03-5759-1061 (担当：有川)



■ 難民支援へご協力をお願いします！

生活に困窮されている難民の方へ、食糧、衣類、日用品等の支援を行っています。2010年は2,537人に支援を行うことができました。下記の支援物資を募集しております。ご協力頂ける方は、事務所宛お送りください。

《食糧》 米、米粉、パスタ、インスタントラーメン、缶詰など保存ができる食品
コーヒー、紅茶、砂糖

《衣類》 男性用夏物 (Lサイズ以上)：Tシャツ、シャツ、Gパン、トレーナー、スウェット、下着 (新品)、靴
*汚れ、シミがひどいもの、傷みが激しいものはご遠慮ください。
*支援者が男性中心のため、女性用衣類、子ども用衣類は、お断りしています。
*倉庫のスペースに限りがあるため、冬物衣類は9月～12月をお願いしています。

《日用品》 タオル、シーツ、石鹸、シャンプー、洗濯用洗剤、歯ブラシ、歯磨き粉、旅行用カバン、スーツケース

■ 難民のためのシェルター (住居) を探しています！

難民の方へご提供できる部屋、家がありましたらご連絡ください。詳細をご説明に伺います。

■ インターナショナルデー 2011 は、中止になりました。

9月25日(日)に予定していましたが、インターナショナルデーは東日本大震災の影響で中止になりました。

カトリック東京国際センター 【運営委員長】岡田武夫 (東京大司教) 【所長】大原 猛

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-22 Tel (03)5759-1061 Fax 5759-1063 <http://www.ctic.jp> info@ctic.jp

02 東京		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
00130-2-710756						千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 カトリック東京国際センター						料 金	
* 通 信 欄 () 賛助会費 (個人会員) 1口 3,000円 () 口 () 賛助会費 (団体会員) 1口 5,000円 () 口 () 一般献金・寄付金 () 外国人支援金・貸付金 基金						備考	
ご依頼人 おとこ (郵便番号) ※ おなまえ (電話番号) _____)						日 附 印	

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第 号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号						通常払込 料金加入 者負担	
00130-2-710756						千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 カトリック東京国際センター						金額	
* ご依頼人 おなまえ ※						備考	
料 金						日 附 印	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

この受領証は、大切に保管してください。

被災した外国人のための、
支援金を受け付けています。



ともに Tomoni

外国人の友に、外国人と共に
東日本大震災の被災者の友に、被災地と共に

CTIC ニュース No.71 / 2011.08



気仙沼教会のフィリピン人共同体と共に

外国人相談

Consultation
Counseling for Migrants



カトリック東京教区が運営している移住者、難民のためのサポートセンターです。日本での生活に関する様々な相談を受け付けています。相談は、無料で、秘密は厳守いたします。面談相談希望の方は、事前に電話予約をお願いいたします。

相談日時：月～金 10:00～17:00

対応言語：日本語、英語、タガログ語
ポルトガル語、スペイン語、イタリア語

Date and Time:
Monday to Friday 10:00 ~ 17:00

Available Languages:
Japanese, English, Tagalog
Portuguese, Spanish and Italian

Tel (03) 5759-1061

広がるフィリピン共同体の絆

カトリック東京国際センターでは、地震当日から、事務所に避難して来たフィリピン人の受入を始めた。また、福島第一原子力発電所の事故が深刻化するにつれ、東京に避難してきた外国人のために一時避難所を開所し、延べ452人を支援した。避難所内は、いつも多くの食べ物と支援物資、ボランティア、笑いにあふれていた。多くの人と共に食事をする文化、台風などの自然災害からの避難生活に幼少期から慣れている彼女たちは、避難生活を楽しんでいるかのようにもあった。

東日本には約100万人の外国人が登録されている。「(母国語である)タガログ語で祈りたい、母国の食べ物を食べたい」との声が被災地から届いた。関東のフィリピン人共同体に支援を呼びかけ、4月中旬に仙台でタガログ語ミサ、支援集会を行い120名の参加を得られた。大船渡市、気仙沼市、丸森町などで交流が続いている。また、被災地のフィリピン人共同体を通じて、物資支援など被災地支援が広がってきた。また、関東のフィリピン人共同体だけでなく、名古屋のフィリピン共同体やフィリピン政府からの医師団の派遣など支援の輪が広がっている。

副所長 有川憲治

被災者の友に・被災地と共に

◆外国人被災者・避難者への一時避難シェルター提供

主に福島からのフィリピン人避難者の受入を行いました。吉祥寺教会、フランスカンチャペルセンターのご協力で、延べ452人を支援することができました。また、多くの教会、修道会から受入の連絡を頂きました。東京外国語大学のボランティアを始め、多くの方々のご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。一時帰国した方の多くは、現在、日本に戻って、日常生活に戻っています。

◆被災地のフィリピン人共同体の支援

被災地には、11万人(中国人3.8万人、韓国朝鮮人1.7万人、フィリピン人1.4万人、ブラジル人1.3万人)の外国人が生活していました。マスコミ報道には外国人被災者の情報はほとんどありませんが、被災地のフィリピン人共同体から、「母国語であるタガログ語で祈りたい、母国の食べ物を食べたい」とリクエストがありました。関東のフィリピン人共同体、フィリピン人宣教師と一緒に被災地に出かけ、支援活動を行っています。まだ避難所での生活を余儀なくされている方も多くいます。関東のフィリピン人共同体と被災地の共同体との絆が深まっています。



福島からの避難者と共に
東京・六本木



仙台のフィリピン人共同体と共に
仙台・元寺小路教会



大船渡のフィリピン人共同体と共に
岩手・大船渡教会

岩手日報
2011年7月7日

「3月11日の震災で、いまだに苦しんでいる人のために祈ります」。大船渡市の高台にあるカトリック大船渡教会で6日、地域に住むフィリピン人たちのために英語のミサが行われた。

賑やかな雰囲気の中、

大船渡で
英語ミサ

教会が心のよりどころに フィリピン人喜ぶ

「神父の塩田希さん(69)が英語で祈りの言葉を唱え、約20人のフィリピン人の女性が英語やフィリピンの複数の言語、日本語で応えた。ミサにきた大船渡市の吉田エリカさんと結婚したフィリピン人(42)は「自分の言葉で祈ることができ、ミサがより深く感じることで、心が落ち着いてきた。心が落ち着くと、英語のミサを希望する声が多かった。震災後、大船渡教会に赴任した塩田さんが応えた。」

「地震、津波で仕事や知人を失った人も多い。精神的なよりどころになれば」と塩田さん。家庭訪問したフィリピン人スタッフの女性には「津波を見たせいで、今も海のそばに行きたくないとか、水が怖い人もいる。家庭の問題なども母国語で相談に乗って、感謝されたい」と説明する。

入女性が多く、大船渡教会には約70人のフィリピン人信者がいる。「カトリック東京国際センター」のスタッフが先月から今月にかけて、被災地域のフィリピン人たちの精神的ケアのため、家庭訪問すると、英語のミサを希望する声が多かった。震災後、大船渡教会に赴任した塩田さんが応えた。

難民の友に

「難民カフェ」ははじめました

今年、難民条約が国連で採択されて60周年、日本が加盟して30周年にあたります。昨年の日本への難民申請者は1,202人。ここ数年、申請者が急増しており1,000人を超える申請数が続いています。一方、昨年認定されたのはわずか39人。手続きには、平均2年かかり、その間の公的支援は限定的なため、生活に困窮する申請者が多くいます。

CTICでは、入管に収容されている難民申請者への面会支援活動、仮放免のための保証金、保証人の提供。食糧・衣類・日用品支援を行っています。最近、諸事情で住居を失い、友人宅を転々とするか、路上で生活する方が増えています。シェルター支援が急務の課題です。

フジテレビ/ザ・ノンフィクション『となりの難民たち』(7月10日)でCTICの活動が紹介されました。事務所に録画したDVDがあります。



カトリック大船渡教会で行われた英語のミサで、喜び合うフィリピン人の女性たち=6日午前、大船渡市

「地震、津波で仕事や知人を失った人も多い。精神的なよりどころになれば」と塩田さん。家庭訪問したフィリピン人スタッフの女性には「津波を見たせいで、今も海のそばに行きたくないとか、水が怖い人もいる。家庭の問題なども母国語で相談に乗って、感謝されたい」と説明する。

シードイック カトリック東京国際センターCTICとは？

日本に滞在する外国人をサポートするために、東京大司教区創立 100 周年記念事業として、1990 年に設立されました。

■ 移住者、難民と共に

困難を抱える外国人を支援し、日本社会に適応し、お互いに成長できる関係作りをサポートします。

■ カトリック教会共同体と共に

日本のカトリック教会が、外国人と共に生き、その役割や課題を分かち合い、同じ信仰を共有する共同体となるようサポートします。

■ 日本社会と共に

国籍・文化・宗教・社会的地位の如何に関らず基本的人権が尊重され、多文化共生による豊かな日本社会の実現のために社会に働きかけます。

シードイック カトリック東京国際センターCTICの活動

■ 外国人の自立サポート

生活相談 / 労働相談 / 難民支援

■ 収容されている外国人のサポート

東京入国管理局（東京都港区）、東日本入国管理センター（茨城県牛久市）への訪問

■ 外国人の信仰サポート

信仰教育支援 / 教会・外国人共同体との連携
信仰教育教材開発

■ 外国人支援ネットワークへの参加、協力

日本カトリック難民移住移動者委員会
移住労働者と連帯する全国ネットワーク
特定非営利活動法人なんみんフォーラム FRJ 他

東日本大震災への取組み

行政の支援が届きにくい外国人被災者を支援する
外国人共同体の被災地支援活動を支援する

(1) 外国人被災者の情報収集

*被災地の外国人登録者数 約 111,672 人
フィリピン 13,823 人、ブラジル 13,120 人、ペルー 4,502 人、ベトナム 1,697 人

(2) 外国人被災者、避難者への

一時避難シェルターの提供（3月11日～、3月末終了）

延べ利用者 452 人

外国人被災者受入施設 約 400 人

〔東京〕小教区 7 教会、男子修道会 2 施設、女子修道会 9 施設

(3) 被災地のフィリピン人共同体への

総合的な支援のコーディネート（4月17日～）

被災地からの要請により、諸団体と協力して総合的な支援を行う。

《霊的支援》タガログ語ミサ、《メンタルケア》、《ケースワーク》、

《物資支援》、《就労支援》

4/17 宮城・元寺小路教会 5/22 岩手・大船渡教会

6/05 宮城・仙台国際センター 6/19 宮城・丸森まちづくりセンター

6/25 宮城・気仙沼教会 7/30 岩手・大船渡教会

*フォローアップで信徒宣教者を派遣 6/26-7/7 大船渡教会

*外務省のフィリピン人医療支援にスタッフ派遣 7/3-7/6

*被災したフィリピン人女性の就労支援への協力（気仙沼）

(4) タガログ語ホットライン（5月2日～、7月末終了）

(5) 緊急物資支援（3月～）

*女性支援グッズ作成（難民支援協会、清泉女子大学と協働） 1 万セット

(6) 外国人ボランティアのマッチング

*毎週金曜日ボランティアバスを運行（難民支援協会と協働）

(7) 山浦玄嗣氏 講演会 企画

「東日本大震災とどう向き合うか 被災地から見た 3.11」

7月23日（土）17:00～ 上智大学 10 号館講堂

(8) 福島県在住の外国人へ支援 外国人登録者数 約 10,291 人

被災した外国人のための、
支援金を受け付けています。

（ご注意）

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付き A T M でもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
添付

印

■ 賛助会、外国人支援金・貸付金へご協力下さい！

CTIC の活動資金は「賛助会費」、「寄付金」、「カトリック東京大司教区からの運営費」からなっております。皆様のご支援をお願いいたします。ご支援いただきました方には、年次報告書をお送りいたします。

◎ 賛助会 個人会員 《一口》 3,000 円（年間）

団体会員 《一口》 5,000 円（年間）

◎ 一般献金・寄付金 ～いつでも、金額は自由です。

◎ 外国人支援金・貸付金基金

～公的支援を受けられず、困窮している外国人への支援金です。

この場所には、何も記載しないでください。